

# 『看護補助体制充実加算対象研修Ⅲ』 研修会実施報告

日時 : ①令和5年9月 5日(火) 8:30~9:30

: ②令和5年9月29日(金) 8:30~9:30

対象者 : 看護補助者

参加者数 : ①18名 ②16名

目標 : 看護補助業務を遂行するための基礎的な知識・技術と日常生活にかかわる業務が理解できる

## <講師の紹介>

摂食・嚥下障害看護認定看護師



## <内容>



今回の研修は、摂食・嚥下障害看護認定看護師より、嚥下のメカニズムを理解し、正しいポジショニングと食事介助の方法、マウスケアができることを目的に講義していただきました。口から食べるということは単に生命維持のためだけでなく、日常生活での楽しみの1つであり、生理的、精神的、社会的側面から喜びを得ることのできる活動であると学びました。食事介助における手技の修得も大切であるが、食事を行うための環境や、食べる姿勢も重要であると講義していただきました。後半は車椅子や

ベッド上で、タオルや枕を使用して安全に食事介助を行うための正しいポジショニングについて実演を行いました。病棟によっては食事介助のあまりない病棟もありますが、実際に正しい食事介助方法や、ポジショニングを体験することで受講者全員が食事介助のイメージができたのではないかと思います。また、食事介助中に「おかしいな?」「大丈夫かな?」と思うことがあれば直ちに食事介助を中止することが大切です。ナースコール、または大きな声で助けを呼び、研修で学んだ窒息時の対応も常に頭に入れながら実践で活かしてください。